

I 道徳教育の目標は

学校の教育活動全体を通じて、道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度などの道徳性を養います。道徳的心情は、道徳的価値の大切さを感じ取り、善を行うことを喜び悪を憎む感情のことです。道徳的判断力は、それぞれの場面において善悪を判断する能力です。道徳的実践意欲と態度は、道徳的心情や道徳的判断力によって価値があるとされた行動をとろうとする意欲や態度です。

II 道徳の時間（道徳教育のかなめ）は、……心にひびく時間にします。

道徳的価値及び人間としての生き方についての自覚を深め、道徳的実践力を育成する時間です。資料を通じて自己を見つめる力を育て、仲間や多くの人々との意見交流を通して自ら生きる規範を育てることです。児童にとって道徳の時間は、自ら生きる指標となる様々な価値と出会い、新たな自分自身と出会う時間でもあります。

III 道徳の内容を4つの視点からとらえると

- 1 主として自分自身に関すること
- 2 主として他人とのかかわりに関すること
- 3 主として自然や崇高なものとのかかわりに関すること
- 4 主として集団や社会とのかかわりに関することです。

IV 4つの視点に含まれるすべての内容項目を指導します

- 1 低学年（1・2年）…16項目

特に基本的な生活習慣や善悪の判断、社会生活上のルールを身に付けることです。

- 2 中学年（3・4年）…18項目

特に自主性、協力して助け合う態度を育てることです。

- 3 高学年（5・6年）…22項目

特に自立心、国家・社会の一員としての自覚を育てること。また、なやみや心の揺れ、かっとう等の課題を積極的に取り上げ考えを深められるようにします。

V 道徳の時間の評価は

道徳の時間は、児童の人格そのものにはたらきかけて児童の道徳性を高めるものであるため、数値などによる評価はしません。教師と児童の心のふれあいを通して、児童の道徳性を共感的に理解して評価します。

○ 日々の生活の様子から ○ 道徳の時間に使ったこどもの自己評価 ○ 日記や心のノートから

VI 保護者へのお願い

家庭は、子どもの人格形成の場であり、主体性を育む上で心の支えとなる所です。子どもたちは、礼儀、感謝、思いやりなど人間生活に必要な基本的な道徳的価値を家庭で身に付けます。そして、学校生活の中で、社会性や協調性、社会生活上のルールや基本的モラルなど、道徳的実践力を付けていきます。

学習の中では、道徳の内容を分かりやすく表した資料やワークシート（心のノート等）を用い、道徳性を養っていきます。内容によっては、保護者の方に記入をしていただくこともありますので、ご協力をお願いします。

月	学習内容	学習のねらい
4	節度，節制を心がけて※ 住んでいる町への思い 「桜を守る」 礼儀正しく真心をもって ※	・自分の生活を見直し，望ましい生活習慣に改善しようとする意欲を高める。 ・郷土の自然・文化や，日本の文化・伝統を大切にする努力を知り，進んで郷土や国を愛する心情を養う。 ・相手を傷つけるような言葉づかいを慎み，礼儀正しく，真心をもって接しようとする態度を育てる。
5	フレンドタイム 自律的で責任ある行動を ※ 法やきまりを守って※	・いろいろな友達がいることを知り，仲良くしようとする気持ちを育てる。 ・自由を大切にし，規律ある行動をしようとする態度を育てる。 ・自他の権利を大切にし，ルール決め方に気をつけ，よりよい生活を送るために，ルールを守ろうとする気持ちを高める。
6	希望と勇気をもってくじ けずに※ 自他の生命を尊重して※ 家族の不思議を考える 「家族ってなんだろう」 いじめをゆるさない	・夢をもち，夢を実現させようとする心情を養う。 ・生命がかげがえのないものであることを知り，自他の生命を尊重する態度を育てる。 ・家族が相互に信頼関係と深い絆で結ばれていることについて考えを深め，家族の幸せのために積極的に役立つようとする心情を育てる。 ・資料の中心人物の心情に寄り添い，その心情を話し合うことを通して，どんな状況においても，いじめを許さないという心情を育てる。
7	気持ちを伝える 「顔が表現するもの」 責任を持って自分の役割 を果たす	・自分に対する誠実さを大切にし，明るい心で楽しく生活しようとする心情を養う。 ・係や委員会がなぜあるのかを考え，身近な集団の中での自分の役割を自覚し，主体的に役目を果たそうとする意欲を育てる。
9	たがいに信頼し，学び合っ て※ 相手の立場に立って親切 に※ 自分が成長するために 「サッカーの贈り物」 協力しあって学級づくり	・相手の人格を尊重し，互いに協力し助け合おうとする心情を養う。 ・誰に対しても思いやりの心を持ち，相手の立場に立って親切にしようとする心情を養う。 ・今ある自分をささえてくれた人々を思い，常に謙虚な心で行動しようとする態度を育てる。 ・学級の一員としての自覚をもって，みんなで協力し合い，よりよい学級をつくろうとする態度を育てる。
10	自分らしさの発見 「トマトとメロン」	・自分の長所を知り，それを伸ばしていこうとする態度を育てる。

<p>1 1</p> <p>1 2</p> <p>1</p> <p>2</p> <p>3</p>	<p>目標に向かって 「千里の道も一歩から」 自分の役割を自覚して※</p> <p>環境のためにできること 「漂流ごみのゆくえ」</p> <p>いのちをつなぐ 「よみがえれ大イチョウ」</p> <p>公共のために役立つことを※</p> <p>世界の子どもたちの願い 「みんな地球っ子」</p> <p>ありのままの自分 「そんなことないよ」</p> <p>心が通い合う言葉 「ソーリィ」</p> <p>限りある命 「命の時間」</p> <p>カッコいいってどういうこと？「ポイ捨てカッコ悪い！」</p> <p>インターネットで気をつけることは「ネチケット」</p> <p>働くことの喜び 「看護師さん」</p> <p>公正、公平な態度で※ (正義を貫く)</p> <p>友達の思いや願い 「友だち紹介」</p> <p>新しい発見を求めて 「ガリレイ」</p> <p>人々の支え合い 「やさしい人たち」</p> <p>日本のよいところは 「日本を愛した人」</p> <p>生きることの意味 「なぜ、わたしたちは生まれてきたのかな」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・より高い目標を立て、希望と勇気をもってくじけないで努力しようとする心情を育てる。 ・自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たそうとする態度を育てる。 ・自然の偉大さを知り、自然環境を大切にしていこうとする態度を育てる。 ・自然の偉大さや生命の力強さに気づき、人間の力を越えたものに感動する心情を養う。 ・社会のために役立つ喜びを知り、進んで働こうとする態度を育てる。 ・世界の子どもたちの願いを理解し、21世紀の国際社会のあり方を考える態度を育てる。 ・自分の長所・短所を知り、それぞれ肯定的に受け止めてもらう中で、自分の長所を伸ばしていこうとする態度を育てる。 ・常に礼儀正しく、真心をもって人に接する態度を育てる。 ・生命がかけがえのないものであることを知り、自他の生命を尊重しようとする心情を養う。 ・公德心をもって、きまりや規則を守ろうとする態度を育てる。 ・自分の生活をふり返り、節度を守り、思慮深く行動しようとする態度を育てる。 ・働くことの意義を理解し、進んで人のために力を尽くそうとする態度を育てる。 ・正しいことを貫き通すしんどさに気付かせながら、どんな状況でも正しいことをしようとする心情を育てる。 ・互いに信頼し合って、男女仲良く助け合い、友情を深めようとする心情を養う。 ・真理を大切にし、進んで新しいものを求め、工夫して生活をよりよくしようとする態度を育てる。 ・日々の生活が人々の支え合いや助け合いで成り立っていることを感謝し、それにこたえようとする態度を育てる。 ・郷土や日本の文化と伝統を大切にし、先人の努力を知り、郷土や国を愛する心情を養う。 ・命の尊厳を知り、生きる喜びをもつとともに、自他の生命を尊重する態度を育てる。
--	---	---